

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

			管理No.		
施設の名称		山形県金峰少年自然の家（海浜自然の家含む）	指定管理者		庄内アソビバプロジェクト
所在地		金峰少年自然の家：鶴岡市高坂字杉ヶ沢54－1 海浜自然の家：飽海郡遊佐町菅里字菅野299	県担当課		教育局生涯教育・学習振興課
指定期間		令和４年４月１日　～　令和８年３月31日	(電話番号)		(023－630－3343)
検証期間		令和６年４月１日　～　令和７年３月31日			

検証項目		指定管理者による自己検証		県(施設所管課)による評価・検証	
1　仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況					
①　管理・運營業務の履行状況	・施設の運営管理についての県側との関係では、毎月の所員会議への参加や、指定管理者である共同企業体の各構成団体代表者と県施設側とで意見情報交換を行うことで適正な施設管理、事業の展開及び利用拡大等で連携できたと検証しています。 ・新型コロナウイルス流行の収束後にも引き続き衛生管理に留意し、熱中症やインフルエンザの予防対策等に対応しました。 ・広報活動では、公式LINEによる事業内容の案内やInstagramでの地域状況等の発信を継続強化し、利用促進を展開しました。 ・受入及び企画事業については、ほぼ計画どおり実施できました。結果として利用者は実人数及び延べ人数とも前年度より増加しました。これは、本館の宿泊利用者の増加要因が大きく、本館の日帰りと海浜の宿泊では減少しています。 ・地域とは、本館で組織化している地域ボランティア団体からの多大な支援活動により連携を図ることができました。 ・施設の維持管理では、利用者の安全安心に配慮しながら年間の保守点検計画に沿っての管理に努めました。改善を要する場合は、早急に対応するようにし、道路破損には舗装補修材を購入して補修するなど、修繕については素早く対応するように努めました。		評　価	《評価の理由》 ・施設管理について、包括協定の仕様書に基づき、適切に行われている。 ・所内会議や意見交換会を定期的実施することで、指定管理者と県の連携・協力体制をより一層強化している。 ・衛生管理も徹底し、利用者の安心安全の確保に努めている。 ・指定管理者のノウハウを活かした事業実施や各種SNSを活用した広報活動のほか、魅力的な施設運営により、利用拡大に尽力している。 ・地域ボランティア団体と連携し、活気のある活動を実施している。 ・施設設備の維持管理について、突発的な不具合に対しても迅速に対処し、利用者に配慮することができている。	
			A		
②　管理・運営上の課題、問題点（改善すべきこと）	・施設及び設備の老朽化が進んでおり、指定管理者側の応急的な小修繕では対応しきれなくなっています。 ・近年、世界的な気候変動による気温の上昇で事業者には従事者への熱中症対策が義務付けられています。一方、施設利用者にとって宿泊時の熱帯夜は、夜間及び睡眠障害による翌日の熱中症リスクを高めます。小中学校の体験活動事業は、夏を避け、春に集中してきていて、7・8月の宿泊利用者は減少傾向ですが、まだ延べ人数で年間の3割を占めています。熱中症対策と施設の有効利用から早期の空調対策が必要と考えられます。		《課題等の原因分析》 ・施設設備の老朽化により、大規模修繕が必要な箇所が増加している。 ・夏季の酷暑対策が必要となっている。		
課題、問題点への今後の対応	・施設設備の老朽化に対しては、利用者の安全確保を第一とし、引き続き、県と指定管理者で協議しながら、適切に必要な修繕を実施していく。 ・年々厳しさを増す酷暑への対策として、冷房設備の導入を検討する必要がある。				

2　利用者からの要望等への対応					
①　意見・要望等及びその対応状況	・利用者アンケート及びSNS等で受けたものを取りまとめ、毎月の所員会議に改善策を含めて報告して要望等に対応しました。利用者アンケートの満足度を年度ごと比較検討し、感想等を集約して利用傾向を確認のうえサービス向上に努めました。 ・要望の強い食事の改善に関しては、給食業務受託の専門業者を含めて検討し、品質及びメニューの改善に努め、好評の意見もいただくようになっています。 ・トイレの洋式化への要望については、指定管理側及び県の施工で一部改修しました。感謝の意見も出されました。また、熱中症対策としての冷房の要望には、導入したスポットクーラーを有効活用して対応しました。 ・その他、危険や不快個所の指摘及び施設設備等の使用に関する要望については、担当部門で改善策を検討し、できる限りの改善に努めました。		評　価	《評価の理由》 ・利用者の要望やアンケートの集計結果を分析して丁寧に対応し、利用者の満足度向上に努めている。 ・可搬式スポットクーラーを活用しながら、熱中症対策を講じている。 ・施設設備等の要望について、利用者の目線に立ち、対策を検討し、危険や不快箇所の改善に努めている。	
			A		
意見・要望等への今後の対応	・今後も継続して利用者アンケート等を実施し、利用者の意見・要望を把握した上で、可能な限り施設運営や事業実施に反映するなど利用者の満足度向上に努めていただく。 ・酷暑対策については、可搬式エアコンの稼働状況も勘案し、今後の対応を検討する。				

3 指定管理者制度活用の効果			
① サービスの向上	・施設利用申込は、ホームページを活用し、メール配信で処理できるように継続しています。 ・ホームページに動画をアップして利用者が館内の利用方法や活動内容を事前に学習できるようにしています。また、Instagramでも画像配信し、自然体験活動の楽しさを見てもらって事業内容を理解していただいています。 ・ボランティア組織の活動を推進、連携し、屋外設備改修や事業補助等による環境改善と事業支援により、安全に安心して施設利用をできるようにしています。 ・利用者の要望に応じた事業を目指し、キャンプやカヌー等の人気の高まりに対応した事業を企画して、経験の浅い参加者でも安心安全に体験できるように努めています。	評 価	《評価の理由》
		A	・施設利用申込みや事前学習等について、ホームページやSNSを活用し、サービス向上に努めている。 ・ボランティア組織と連携し、施設整備や事業運営を行うことで、充実した施設利用を実現している。 ・利用者が安心安全に体験活動を行うことができるよう、レベルに応じた事業運営を行い、満足度向上に努めている。
② 経費の節減	・本部で予算を一括管理調整し、経費削減に努めました。 ・本館と季節開館の海浜との業務連携を目指した人員配置や重複しない業務処理等、補完し合える体制づくりにより人件費の節減に努めました。 ・光熱水費の適正使用に努めました。特に電気料については、職員相互が自覚し合って削減に努めたことにより使用量は前年度より下回ることができました。 ・最賃引上げや資材費等の値上がりにより、業務委託料は増額傾向ですが、道路補修や草刈り等で従業員自らが行い、節減するようにして全体の適正支出に努めました。 ・地域及びボランティアとの連携においては、特に本館で取り組んでおり、支援協力体制を得ていることで施設の環境整備費用を節約しています。	評 価	《評価の理由》
		A	・繁閑に応じた人員配置の調整等、経費の節減に尽力しながら効率的な運営を行っている。 ・積極的な光熱費の削減に努めている。 ・草刈り等は、指定管理者自らが行うことで、限られた経費の中で適切な管理を行っている。 ・地域やボランティアの協力を得ることで効率的な経費の削減につながっている。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・地元の催事、集会等には積極的に参加して連携を深め、地域の一員として活性化に協力できるようにしています。 ・当共同企業体の構成団体の一つである庄内体験活動協議会の会長は、本館の近隣で保育事業を展開しており、従来から地元との関係が深く、施設ボランティア組織の「金峰倶楽部」と「どんぐり笑好会」でも連携を得ており、活動を通して地域の活性化に一役を担っています。 ・施設環境整備や夜間管理等の業務において非常勤従事者として施設近隣の居住者を登録雇用(施設担当登録7名)し、地元で就労の機会を提供しています。 ・地元業者とできる限り取引することにし、特に外注している施設管理業務では、指定管理者の代表団体がすべて受託することなく、地元の専門業者から参入してもらい、地域の安定した雇用の確保に努めています。	評 価	《評価の理由》
		A	・地元行事への参加や、地元ボランティアとの連携を図り、地域住民の活性化に貢献している。 ・施設管理業務を地元業者へ発注することで、雇用の確保に貢献している。
総合的な評価		・県と指定管理者の連携・協力体制に基づいた安定的な管理運営が行われている。 ・指定管理者のノウハウを活かし、施設の利便性向上や魅力的な事業実施がなされている。 ・利用者のニーズを詳細に把握し、柔軟に対応することで、利用者の満足度向上に努めている。 ・引き続き、工夫を凝らした施設運営を行い、利用者の満足度向上に努めていただきたい。	

【評価指標】

- A：仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
- B：概ね適正に実施されている。
- C：部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
- D：仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特性等に応じて適宜追加することができるものであること。